

第4部 くだものの部

(1) ぶどう(シャインマスカット) 《 審査日:令和7年9月18日 》

①審査所見

58回目を迎えた本コンクールは、種なしで皮ごと食べられる大粒品種の生産振興を進めるとともに、栽培技術及び品質の向上を図るため「シャインマスカット」を対象に行いました。

今年は、発芽期頃の4月に少雨となり、生育のばらつきが心配されましたが、開花期頃は天候も安定し、気温も高温で経過したため生育も順調に進みました。梅雨明け後は高温少雨傾向が続き、果粒肥大は小玉傾向となりました。8月上旬の前線の影響により、局地的に激しい雨が降り、各地で裂果が発生しました。生育期間を通して高温傾向であったため、ぶどうの生育は総じて早くなりました。

このような気象条件においても例年並みの出品点数があったことは、生産者及び関係機関のたゆまぬ努力による「シャインマスカット」の生産技術向上の現れと存じます。

出品されました「シャインマスカット」の果房の多くは、1果房を35粒程度にきちんと摘粒されておりました。糖度は平均18.7%と、目標としている19%に届かず、食味にばらつきがみられました。裂果はほとんど見られず、縮果症も少なかったのですが、外観については出品物による差が大きかったように感じられました。特に房型は粒肥大が劣った影響もあり、例年に比べばらついていました。また、着色は目標とする果皮色に仕上がっており、食味を重視する長野県が目指す果房となっておりましたが、やや黄色が濃いものも散見されました。

上位入賞されたものは、房型、着色、果粒肥大、食味などが総合的に優れており、模範となるぶどうに仕上がっていました。これも生産者及び関係者の努力の賜物と拝察いたします。

ぶどう産業は品種構成が大きく変わる時期にあり、産地間競争の激化も見られています。また「シャインマスカット」は全国的にも大衆化し、より一層果実品質で選ばれる時代となっています。本県としても統一的に品質向上を図られ、消費者からますます信頼されるぶどうが生産できますよう関係各位の御協力を賜りますことをお願いするとともに、各産地が更に発展されますことをご祈念申し上げ、審査所見といたします。

②入賞者名簿

シャインマスカット

区 分	氏 名	市 町 村
農林水産大臣賞	ナカムラ ユウキ 中村 悠基	上田市
農産局長賞	シバヤ コウタロウ 渋谷 光太郎	須坂市
長野県知事賞	ウメダ カツヤ 梅田 健也	飯田市
長野県園芸作物生産振興協議会長賞	ナカイ リュウスケ 中井 竜佑	須坂市
長野県園芸特産振興展推進協議会長賞	アンドウ リオ 安藤 則雄	高森町
全国農業協同組合連合会長野県本部長賞	イトウ ヒデキ 伊藤 秀樹	長野市
一般財団法人長野県果樹研究会長賞	サカイ ケンコウ 境 賢光	須坂市
一般財団法人長野県果樹研究会長賞(わかば賞)	スズキ シュウヘイ 鈴木 秀平	上田市